

今年度も秦野市南が丘公民館にて、夏季公開研修会を2回行いました。秦野市と伊勢原市を中心に、地域の多くの方にご参加いただきました。

## 平成30年度 第1回公開研修 「発達からみた子どもたちのこころのサポート」 ～発達障害と二次障害（不登校を含む）の理解～

講師 | 国立特別支援教育総合研究所 新平 鎮博 氏

日時 | 平成30年7月30日（月）10：00～12：00

当日は、「発育・発達からみた障害の考え方」「こころの病気と発達障害、不登校の関係」「発達障害の症状、診断、支援について」「こころの病気の教育的支援の研究紹介」といった内容について、国立特別支援教育総合研究所の情報・支援部長兼上席総括研究員の新平鎮博 Dr.にご講演いただきました。

### 参加者の感想より

- ・発達障害の理解のポイントがわかりやすく学ぶことができよかった。
- ・自分がやってきたことを振り返るきっかけとなった。今接している生徒への対応のヒントを得ることができた。
- ・人は（こころの）状態が悪くなると「○○したい」と思わなくなるというのが印象的だった。
- ・医学の視点からこころのサポートについて伺うことができよかった。



## 平成30年度 第2回公開研修 「はじめよう応用行動分析 —行動の理解と具体的な支援—」

講師 | 横浜国立大学 教育学部教授 渡部 匡隆 氏

日時 | 平成30年8月1日（水）10：00～12：00

応用行動分析（Apply Behavior Analysis）の基本的な考え方や問題解決への取り組み方・具体的な支援の方法について横浜国立大学教育学部教授の渡部匡隆氏にご講演頂きました。教員や関係職員だけでなく、本校在籍児童生徒の保護者も交えて、子どもの行動の理解と変容を手助けする方法について学ぶ場となりました。

### 参加者の感想より

- ・具体的な例があって、とても分かりやすかった。実際の自分の行動にあてはめながら聞くことができた。
- ・子どもの行動の記録の仕方、分析の仕方が勉強になった。
- ・良い行動の時の分析を生かして指導を工夫していくという点が勉強になった。
- ・ワークを体験し、行動の分析の仕方がわかってきた。
- ・通常級でも活用できる点が多々あった。

